

プロレスラー大谷晋二郎

原発なんの 救援物資運び込んだ



プロレスラー大谷晋二郎（38）が20日、トラックで4トン分の救援物資を、福島県郡山市内の避難所「ビッグパレットふくしま」へ運んだ。福島第1原発から、わずか50キロの放射線被害が懸念される最前線に自ら出向いた。

いてもたってもいられなかった。救援物資運搬車の4トントラックに乗り、原発の放射線被害による被災者が集まる郡山に入った。

「本当はプロレスで励ましたいけど、今はまだそんなことも言ってもらえない。まずは必要な物資を運ばせていただきました。」

17日に社長を務めるプロレス団体ゼロワンの都内道場で、所属選手やファンらと物資を集めていた。760キロの米、2000リットルの水、生理用品などを次々と運び出した。原発被害の最前線へ向かうことに、周囲から止める声も上がった。しかし「被災地でガソリン補給の迷惑をかけずに東京から往復できるし、いじめ撲滅ボランティアで来たこともあったので郡山になった。原発？ 皆さんが戦う恐怖を、少しでも無くしたかった」と、迷いはなかった。避難所で放射線量の検査も受け、自ら安全性を証明した。



物資受け入れ側の窓口、佐藤てつやさん（42）は「やっぱりプロレスラーは、困った人を助けるヒーロー。勇気がわく」と感激した。原発周辺の住民ら約2500人が集まる館内を視察した大谷は「僕らが試合をしてきた懐かしい会場が、想像を超える避難所に変わった」と絶句。ただ「もう半分の物資も、また運びに来ます。いつか必ず、被災地にもプロレスで戻ります」と誓った。

[2011年3月21日9時29分 日刊スポーツ紙面から]

大谷晋二郎 初の自伝本

何度でも立ち上がれ 僕の人生、起き上がりこぼし

希望と正義のある社会を独創的な方法で模索する、プロレス興行会社の熱き社長レスラー、大谷晋二郎。プロレスの大ファンになった子ども時代から、壁にぶつかりながらもプロレスで日本を元気にしようと奮闘する現在までを綴る。



四六判・176ページ・並製・ISBN978-4-904933-00-8 / 定価1,500円(税別)

ご注文は株式会社キーステージ21へ FAX: 042-634-9138

注文書

取次: 地方・小出版流通センター

何度でも立ち上がれ 僕の人生起き上がりこぼし

定価(本体1,500円+税) _____冊 C0036 ISBN978-4-904933-00-8

お名前 _____

ご住所 _____

お電話番号 _____

お取り扱い店